

四国中央市立新宮小・中学校 保健室へようこそ

平成 28 年 12 月に引っ越した、県産の木材をふんだんに使った校舎です！



四国中央市立新宮小・中学校は徳島県、高知県との県境にある、児童生徒 52 名の小中一貫教育校です。小学生と中学生が同じ校舎でともに学び合っています。養護教諭は小学部に配属され、中学部も兼務しています。新宮小・中学校の様子は、ぜひ HP をご覧ください！



保健室前の掲示板は、栄養教諭と分け合って使っています。季節の飾りも取り入れます。児童生徒は、自分たちが緑の少年団活動で組み立てたベンチに座って、掲示を見えています。

コンパクトな作りの保健室なので、執務机は置かず、手当てと休養をメインにした配置にしています。薬棚から直接道具を出して手当てをします。

棚には、養護教諭以外も使いやすいように、どこに何が保管されているかマスキングテープで明記しています。



新宮の特産品は、『お茶』です。学校でお茶摘み体験もあります。



液体泡石けんの予備を流しの所に置いています。給食保健委員の児童生徒が、各教室の石けん量を点検し、ここから取っていきます。